

第2回学校運営協議会 議事録

1. 日時：令和7年11月28日（金） 午後2時15分～午後3時30分

2. 場所：新棟1階 展開2教室

3. 出席者：

- 学校運営協議会委員（4名）

- 川口 雅夫

- 田中 孝二

- 北村 翼

- 中田 愛

- 教職員（2名）

- 准校長 南出 孝明

- 書記 佐々木 花菜

4. 欠席者：

- 学校運営協議会委員（2名）

- 小川 寿之

- 松本 道代

5. 議題：

1. 開会の挨拶（南出准校長）

2. 座長挨拶（川口会長）

3. 令和7年度 本校教育活動について協議（南出准校長）

- （1）令和7年度 生活指導部 中期報告

- （2）令和8年度 使用教科書（選定・採択）について

- （3）令和7年度 進路指導部 中期発表

- （4）令和7年度 保健指導部 中期発表

(5)令和7年度 前期 授業アンケートについて

(6)令和7年度 いじめアンケート 中間報告

(7)学校教育自己診断について

(8)その他

4. 閉会の挨拶

5. 事務連絡

6. 会議録：

○ 開会の挨拶（南出准校長）

- ・現在教頭(8月末～)、首席(昨日～)が不在であることから、分掌長は学校運営協議会に参加せず、現場を優先することにした。
- ・委員6名のうち2名が欠席での開催。昨年度に比べて生徒の出席状況は良く、茨木市ヴィンテージカーショー(11/23 開催)にて自動車部が30年前の自動車をレストアして展示するなど、授業外の活動も頑張っている。教員については欠員も出ているが、学校を盛り上げていけるようにしたい。

○ 座長挨拶（川口会長）

昨今時代の変化は速く、仕事においてもIT系設備の導入を重要視しなければならなくなっている。将来IT系設備を導入することで人員削減が可能になり、それに伴い人が出来ることも変わっていくのだろうと考える。新しい技術や情報に対して向き合っていくことの出来る人材を学校現場で育てていけるよう、学校教育もより良くなってほしい。

○ 令和7年度 本校教育活動について協議（南出准校長）

(1) 令和7年度 生活指導部 中期報告

[1] 学校生活

- ・生徒同士、教師生徒間の関わりが多く、自分の気持ちを伝えることが出来るようになってきている。
- ・希望生徒を対象にインターンシップ(海上自衛隊、陸上自衛隊)に参加し、進路について考えるきっかけとなった。

[2] 学習面

- ・授業中にスマートフォンを使用する生徒に対し、粘り強く指導している。
- ・全教員で授業中の立ち番指導を実施。途中退席、無断早退のないよう努めている。

[3] 行事

- ・文化祭(11/14)

各学年準備から積極的に取り組んでいた。インターンシップの様子は文化祭でビデオ放映した。

[4]部活動

部活動に積極的に参加する生徒が増えた

- ・自動車部

茨木市ヴィンテージカーショーに出展。多くの人が来場しており、本校の広報にもつながった。来年も参加を予定している。

- ・写真部

大阪府高等学校定時制通信制秋季発表大会に作品を出品し、うち1点(タイトル「月面着陸」、夜の鳥取砂丘の写真)が奨励賞を受賞。

- ・軽音楽部

大阪府高等学校定時制通信制秋季発表大会 芸能発表の部にて、学校長協会賞を受賞。

- ・フットサル

第59回大阪府実業高等学校定時制の課程総合体育大会に出場し7位。

[5]今後に向けて

授業中のスマートフォン使用方法についての指導の強化し、生徒会活動や部活動についても充実を図りたい。

<質疑応答>

「夏休みのインターンシップとは就職活動のインターンシップに近いものか？」

➡「本校のインターンシップは小規模であり本年は2日間。職業見学に近い。」

(2) 令和8年度 使用教科書(選定・採択)について

令和8年度に使用する教科書が決定したことを報告。

(3) 令和7年度 進路指導部 中期発表

- ・学校経営計画 評価指標

- ①就職希望者の応募前職場見学率 100% 維持

本年度：171%の実施率(見学数12件/受験数7件)

- ②就職希望者の正規雇用就職率 100% 維持

本年度：87.5%の正規雇用就職率(正規雇用就職7名/就職希望者8名)

- ③就職内定率 100% 維持

本年度：100%の内定率（内定者5名／学校斡旋就職活動実施者5名）

④進学希望者の合格率80%をめざす

本年度：進学希望者なし

- ・学校斡旋就職での就職先を報告
- ・進路未決定者についても自己開拓で進路が決定したため、卒業予定者8名全員の進路が決定。

<質疑応答>

- ・「3年制で卒業する生徒の授業はどのようになっているのか？」
➡「通信制の授業を併修することで、3年での卒業が可能となる。通信制の授業では授業外でレポート課題などが課される」
- ・「3年制と4年制でクラスは分けられている？」
➡「分けられていない。選択授業のイメージで、授業ごとで分かれている。4年制でも複数の系列があるが、すべての系列がまとまって1クラスになっている。」
- ・「兵庫県では0限に出席することで3年間での卒業が可能となる。それと似たようなものか？」
➡「本校でも0限はあるが、それだけでは卒業単位に満たない。大阪府では、本校に在籍しながら通信制の授業分は府立桃谷高校に受けに行き、その採点などは本校教員(府立桃谷高校教員を兼任)が行っている。」

(4) 令和7年度 保健指導部 中期発表

- ・今年度の定期健康診断等実施記録を報告
避難訓練に関しては、今年度茨木消防署から講師の派遣はなしで実施。
- ・今後の健康診断の予定について報告
1月実施の防災講演会については茨木市消防署下井分署に講師を依頼。「大地震発生時の対応について」講演を行ってもらう予定。

(5) 令和7年度 前期 授業アンケートについて

- ・第1回アンケート(7/8実施)について報告。第2回アンケートは12/17に実施予定。
- ・回答率は84.2%であり、昨年度より0.4ポイント上昇(長期欠席者除く)。

- ・アンケート質問項目は大阪府教育庁が示す項目を本校に合わせて文言を変更したのものになっている。
- ・結果は昨年度(R6 年度)に比べ、すべての項目に対して肯定評価が上昇した。しかし、昨年度は一昨年度(R5 年度)に比べてすべての項目で肯定評価が下降しており、本年度(R7 年度)の結果は一昨年度の状況に戻ったといえる。
- ・経時的な変化をみるため、本年度第 2 回、来年度も同じ質問項目で行う予定。

(6) 令和 7 年度 いじめアンケート 中間報告

- ・第 1 回アンケート(7/1 実施), 第 2 回アンケート(9/19 実施)について報告。第 3 回アンケートは 1 月に実施予定。

・第 1 回について

回答率は 79.5%であった。質問項目のうち 1 つ(「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。」)に対し、「ある」との回答が 1 件あった。その生徒については、今の状況について「ほとんど気にならない」と回答している。「いじめ」「セクハラ」「体罰」に関する自由記述について、記載している生徒はいなかった。

・第 2 回について

回答率は 75.0%であった。質問項目全てに対し、「ある」と回答した生徒はいなかった。しかし、表面化していない可能性もあり、気を抜いてはいけないと考えている。

- ・教職員以外にも SC, SSW の相談体制を整え、関係者全体でいじめ防止に取り組んでいく。

<質疑応答>

- ・「ここでいう「いじめ」は生徒間同士のみか？」
➡「生徒間のみでなく、教員と生徒間どちらも含めてアンケートを取っている。」

(7) 学校教育自己診断について

- ・本協議会で承認を貰ったうえで実施予定。1/9 実施予定。
- ・保護者、生徒、教職員向けに質問を設定。

質問項目を提示し審議を行った。

・一般的には保護者、生徒向け質問は 30 問程度であり、本校は 50 問以上ということで質問項目が多すぎるのではないかと考えている。今後質問の精選を行う必要がある。

・「回答は web 上で行うのか？」

➡「Google フォームを活用して行う。」

・「「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。」について、カウンセリングマインドを教職員が学んでいるのか？」

➡「多くの学校で SC の研修が行われており、本校も今月行った。」

・「現在も同和問題を扱っているのか？」

➡「現在も行っている。残念ながら現在も差別事象が学校で起こっている。今後も行っていくつもりである。」

➡「具体的な差別事象を質問項目に入れるのではなく、差別全般として取り扱った方が良いのでは？差別にもさまざまな種類があり、特定のものだけにしなくても良いのでは？」

➡「今後の精選で必要となるところであると考える。」

今後気になる点があれば学校に連絡するという形で協議を終了。

(8) その他

なし

○ 閉会の挨拶

- ・現在人員不足により、現場に影響が出ていないか不安になるところもある。
- ・赴任してからの半年で改善すべき点も多く見えてきた。学校として基本的な体制をしつかりと築いていくことを残り半年の目標としていきたい。
- ・第 3 回までの間でも気になる点があれば随時意見をいただきたい。